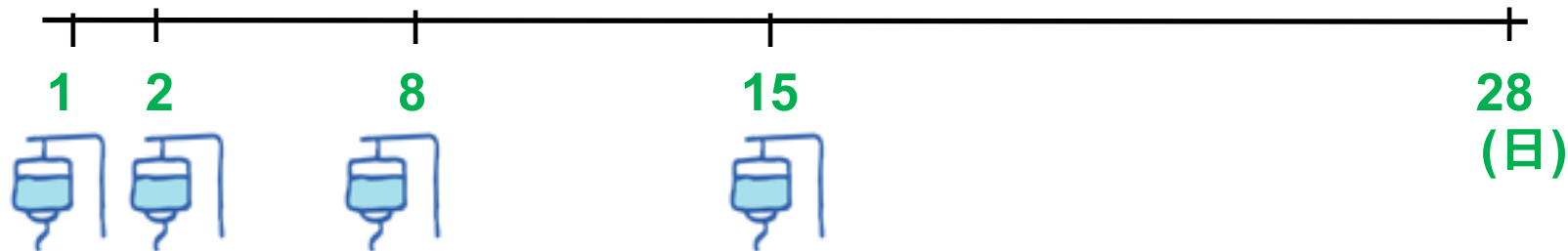


GC療法 ゲムシタビン+シスプラチン ショートハイドレーション

- * 点滴薬(ゲムシタビン[®]、シスプラチン[®])を使う治療法です。
- * 4週間を1コースとして以下の治療を繰り返します。
- * ゲムシタビン[®]は1、8、15日目に点滴します。
シスプラチン[®]は2日目に点滴します。
- * 体表面積は身長と体重から計算されます。

<1コース 分= 4週間>



ゲムシタビン[®]点滴
(1000mg × 体表面積)

ゲムシタビン[®]点滴
(1000mg × 体表面積)

ゲムシタビン[®]点滴
(1000mg × 体表面積)

シスプラチン[®]点滴
(70mg × 体表面積)

点滴 1日目

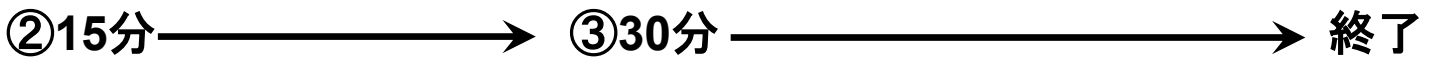
<メイン>

① 血管ルート確保



生理食塩液の点滴をします

<側管>



お薬によるアレルギーや吐き気を予防する薬が混ざっています。
・パロノセトロン
・デキサート®



ゲムシタビン®が混ざっています

点滴 2日目

<メイン>

①1時間 → ②15分 → ③1時間



腎臓への影響を防ぐために必要な電解質を補充します。
・硫酸マグネシウム



お薬によるアレルギーや吐き気を予防する薬が混ざっています。
・デキサート®



シスプラチンが混ざっています

④シスプラチン終了後に注射 → ⑤1時間 → ⑥1時間 → 終了

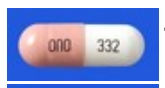


利尿剤を注射します。腎臓への影響を防ぐために尿の量を増やしシスプラチンの排泄を促します。
・フロセミド



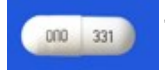
飲み薬(吐き気止め)

2日目



アプレピタントカプセル125mg 1回1個 シスプラチン®点滴(2日目の④)開始1時間前に服用

3、4日目



アプレピタントカプセル80mg 1回1個 1日1回 朝食後に服用

2～5日目



オランザピンOD錠5mg 1回1個 1日1回 夕食後に服用

3～5日目



デカドロン®錠4mg 1回1個 1日2回 朝・昼食後に服用

点滴 8, 15日目

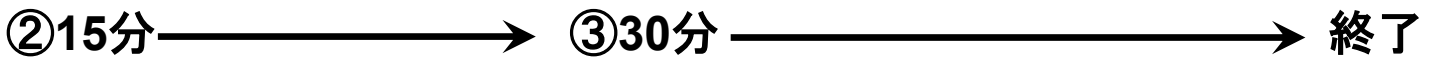
<メイン>

① 血管ルート確保



生理食塩液の点滴をします

<側管>



お薬によるアレルギーや吐き気を予防する薬が混ざっています。
・デキサート®



ゲムシタピン®が混ざっています